

# 平成25年度 事務事業評価表【A様式】

1 事業の概要			
事業番号	168	事業名	スポーツ交流ひろば（スポーツ開放）の運営委員会化の推進
基本構想上の位置付け	【大項目】		【中項目】
	コミュニティ・産業・文化		スポーツ振興
個別計画	アカデミー推進計画		
所管	アカデミー推進部	スポーツ振興課	
目的	区立小中学校を活用し、区民にスポーツの場を提供するスポーツ交流ひろばについて、地域の実情に沿った柔軟な運営を行うため、運営委員会による運営を推進します。		
手段	区立学校の校庭・体育館・プールをスポーツの場として区民に開放しています。開放時には、指導員を配置し、実技指導及び利用者の安全確保に努めています。		

2 事業の指標									
指標名	単位	22年度	23年度		24年度			25年度	
		実績	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画
運営委員会（自主運営校）	校	10	10	10	100%	10	10	100%	11

3 コスト						
単位：千円	22年度	23年度		24年度		25年度
	実績	予算	実績	予算	実績	予算
事業費 A	13,169	14,225	12,695	13,676	13,071	13,535
特定財源	0	0	0	0	0	0
一般財源	13,169	14,225	12,695	13,676	13,071	13,535
所要人員 B	0.70	0.70	0.70	0.50	0.50	0.50
職員1人給与 C	7,092	6,895	6,895	6,809	6,809	6,868
人件費 D=B×C	4,964	4,827	4,827	3,405	3,405	3,434
総経費 E=A+D	18,133	19,052	17,522	17,081	16,475	16,969

4 評価				
事業の成果及び課題				
23年度	24年度	25年度		
<b>【成果】</b> 22年度は区立小・中学校18校で開放を実施しました。直営校8校、自主運営校10校です。開放日数は延べ1513日、利用人数は延べ32,396人です。また、夏季休業期間を利用して、2校でプール一般開放を実施しました。開放日数は、延べ23日、利用人数は延べ1,810人です。なお、プール団体開放は、8団体で実施され、参加者は1,158人でした。	<b>【成果】</b> 23年度は区立小・中学校18校で開放を実施しました。直営校8校、自主運営校10校です。開放日数は延べ1,427日、利用人数は延べ30,542人です。また、夏季休業期間中に2校でプール一般開放を実施しました。開放日数は、延べ12日、利用人数は延べ1,240人です。プール団体開放は6団体で実施され、参加者は750人です。	<b>【成果】</b> 24年度は区立小・中学校18校で開放を実施しました。直営校8校、自主運営校10校です。開放日数は延べ1,532日、利用人数は延べ33,468人です。また、夏季休業期間中に2校でプール一般開放を実施しました。開放日数は、延べ12日、利用人数は延べ984人です。プール団体開放は6団体で実施され、参加者は1,078人です。		
<b>【課題】</b> 開放校及び種目の拡大について検討する必要があります。学校・運営委員会との連絡・調整を円滑に行う必要があります。地域住民等による自主運営化を推進し、区民との協働によるスポーツ事業を展開する必要があります。また、安定的に事業を運営するため、新たな指導員の確保が必要です。	<b>【課題】</b> 開放校及び種目の拡大について検討する必要があります。学校・運営委員会との連絡・調整を円滑に行う必要があります。安定的に事業を運営するため、新たな指導員の確保が必要です。	<b>【課題】</b> 運営委員会の適正な運営のため、連絡会を開催し、運営方法の説明や状況の確認を継続的に行います。また直営校を運営委員会へ転換させていくため、地域の実情等を踏まえて、円滑な委員会化の推進を図るための、具体的な検討をしていきます。		
指標達成度		23年度	24年度	25年度
		A	A	A

5 ①事務事業に関する区民要望・ニーズの変化及び②区民参画の状況	
スポーツ交流ひろば10校、プール開放2校で地域住民による自主運営を実施しています。指導員の高齢化が進んでいますが、新しく運営に参加する人が見つからない状況です。	

6 今後の方向性		
時点	方向性	① 事業の展開内容
23年6月末	現状維持	学校・運営委員会との連絡調整を円滑に行い、安定的な事業の運営を図ります。 ② 予算の増減内訳 職員手当・需用費の削減等による減（△141千円）
24年6月末	現状維持	③ 所要人員の考え方 常勤職員2人×0.2+非常勤職員1人×0.1人 計0.5人
25年5月末	現状維持	④ 現状維持の理由 健康維持や定期的なスポーツの場であり、利用者の実施要望も高い。

# 平成25年度 事務事業評価表【A様式】

1 事業の概要			
事業番号	169	事業名	スポーツ団体等協働事業
基本構想上の位置付け	【大項目】		【小項目】
	コミュニティ・産業・文化		スポーツ振興
個別計画	アカデミー推進計画		
所管	アカデミー推進部	スポーツ振興課	
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>区内に拠点を持つプロスポーツ等団体や地域のスポーツ団体等との連携・協力体制を構築し、区民がより一層レベルの高いスポーツを身近に観戦できる機会を提供し、スポーツに関心を持てるようにしていきます。</li> <li>プロスポーツ等団体をはじめ、学校や地域のクラブチームなどとのふれあいの場を設けて、身近に接することができる環境をつくります。</li> </ul>		
手段	<ul style="list-style-type: none"> <li>参画団体もつスポーツのノウハウやネットワークを活用し、専門的な知識を収集することに役立てます。</li> <li>相互協力協定を締結している団体等と協力して、事業を実施します。</li> </ul>		

2 事業の指標									
指標名	単位	22年度	23年度			24年度			25年度
		実績	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画
講習会等	回	0	1	1	100%	1	1	100%	1
教室	回	1	1	2	200%	1	2	200%	1
観るスポーツ	回	1	1	3	300%	1	1	100%	1

3 コスト						
単位：千円	22年度	23年度		24年度		25年度
	実績	予算	実績	予算	実績	予算
事業費 A	200	684	263	300	127	300
特定財源	0	0	0	0	0	0
一般財源	200	684	263	300	127	300
所要人員 B	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
職員1人給与 C	7,092	6,895	6,895	6,809	6,809	6,868
人件費 D=B×C	709	690	690	681	681	687
総経費 E=A+D	909	1,374	953	981	808	987

4 評価						
事業の成果及び課題						
23年度		24年度		25年度		
<b>【成果】</b> ・サッカー教室では、レベルの高い練習方法を体験し、技術の習得に役立てました。 ・読売巨人軍の区民感謝デーは、親子での野球観戦とグラウンドでのイベントゲームにより、スポーツを楽しめる機会を提供しました。		<b>【成果】</b> ・23年度は、6事業を実施し、22年度の3倍の実績を残しました。 ・元日本代表サッカー選手を講師に迎えた少年少女サッカー教室や読売巨人軍区民感謝デーをはじめ、セミナー、パブリックビューイングなど多様な事業を展開しました。		<b>【成果】</b> ・ロンドンオリンピック女子サッカー代表チームの監督・選手等を交えて銀メダル報告会を実施し、区民ひろばでオリンピックでの感動・喜びを多くの区民とともに分かち合いました。 ・東京大学運動会ア式蹴球部との少年サッカー交流事業、JFA女子サッカーフェスティバルや読売巨人軍区民感謝デーを実施しました。		
<b>【課題】</b> ・スポーツ団体等とのスケジュール調整を早期から行い、計画的に実施する必要があります。 ・スポーツ団体等との連携・協力により、スポーツ選手等とふれあえる事業の実施をさらに検討していきます。 ・教育関係機関等との連携・協力体制を整備し、大学や地元のクラブチームの試合等の情報を収集し、広く区民に情報提供していく仕組みを検討していきます。		<b>【課題】</b> ・スポーツ団体等との連携・協力により、スポーツ選手等とふれあえる事業の実施をさらに検討していきます。 ・教育関係機関等との連携・協力体制を整備し、大学や地元のクラブチームとの事業を検討していきます。		<b>【課題】</b> ・大学等との連携・協力体制を引き続き整備し、24年度実施の「東京大学運動会ア式蹴球部との少年サッカー交流事業」と同様なケースを今後も進めていきます。		
指標達成度				23年度	24年度	25年度
				A	A	A

5 ①事務事業に関する区民要望・ニーズの変化及び②区民参画の状況	
①22年度から継続して実施している読売巨人軍区民感謝デーでは、東京ドームの人工芝グラウンドに降りて練習見学をしたり、アフターゲームイベントでティーボール等をしたりと普段の試合観戦では体験できないことができる大好評をいただいております。 ②平成24年度は、読売巨人軍区民感謝デーでは、スポーツ推進委員、少年サッカー交流事業では、東京大学運動会ア式蹴球部との協力にて事業を実施しました。	

6 今後の方向性		
時点	方向性	① 事業の展開内容
23年6月末	現状維持	スポーツ団体等との連絡・調整を強化し、多様な事業を実施します。
24年6月末	現状維持	② 予算の増減内訳 増減なし
25年5月末	現状維持	③ 所要人員の考え方 常勤職員1人×0.1 計0.1人 ④ 現状維持の理由 著名なスポーツ団体、施設、大学があり、恵まれた環境を活かすことができます。

# 平成25年度 事務事業評価表【A様式】

1 事業の概要			
事業番号	171	事業名	(仮称) 新総合体育館の整備
基本構想上の位置付け	【大項目】		【中項目】
	コミュニティ・産業・文化		スポーツ振興
個別計画	文京総合体育館建設基本構想		
所管	アカデミー推進部	スポーツ振興課	
目的	老朽化した総合体育館を建て替えることにより、より多くの区民がスポーツに親しむことができ、身近な場所で健康づくり・体力づくりができるようになります。		
手段	区民参画により策定した総合体育館建設基本構想に基づき、設計を行い総合体育館を建て替えます。なお、設計業者は公募型プロポーサルにより選定しました。		

2 事業の指標									
指標名	単位	22年度	23年度			24年度			25年度
		実績	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画
建設工事進捗度	%		30	13	44%	100	100	100%	
初度調弁整備の進捗度	%		55	35	64%	100	100	100%	
開館の準備業務の進捗度	%		10	10	100%	90	90	100%	100

3 コスト						
単位：千円	22年度	23年度		24年度		25年度
	実績	予算	実績	予算	実績	予算
事業費 A	81,492	174	152	51,129	26,642	2,750
特定財源	0	0	23,873	0	0	280
一般財源	81,492	174	-23,721	51,129	26,642	2,470
所要人員 B	1.03	0.50	0.50	0.70	0.60	0.60
職員1人給与 C	7,092	6,895	6,895	6,809	6,809	6,868
人件費 D=B×C	7,269	3,448	3,448	4,766	4,085	4,121
総経費 E=A+D	88,761	3,622	3,600	55,895	30,727	6,871

4 評価			
事業の成果及び課題			
23年度		24年度	
<b>【成果】</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区民説明会、紛争予防条例関連建設工事説明会、公聴会や関係団体への説明等を実施しました。</li> <li>・新総合体育館建設予定地（四中跡地）の埋蔵文化財発掘調査を終了しました。</li> <li>・基本・実施設計を策定しました。</li> </ul>	<b>【成果】</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設工事が滞りなく行われるよう、関係各課・工事業者等との打合せを定期的に行いました。</li> <li>・文京区体育協会やスポーツ推進委員、町会等関係団体に対して、定期的に設計内容や工事の進捗状況等の報告を行いました。</li> </ul>
<b>【課題】</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設工事が滞りなく行われるよう、関係各課・工事業者等との打合せを定期的に行う必要があります。</li> <li>・初度調弁整備など、開館にむけての準備を進める必要があります。</li> <li>・区民の要望も取り入れた運営を目指し、指定管理者と十分な協議を行うとともに、文京区体育協会や体育指導委員など関係団体との連携をとっていく必要があります。</li> </ul>	<b>【課題】</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、初度調弁整備など、開館にむけての準備を進める必要があります。</li> <li>・区民の要望を取り入れた運営を目指し、引き続き、指定管理者と十分な協議を行うとともに、文京区体育協会や文京区スポーツ推進委員など関係団体と連絡をとっていく必要があります。</li> </ul>
<b>【成果】</b>		<b>【成果】</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係各課・工事関係者等と定期的な打合せを行い、予定どおり3月21日に建物の引渡を行いました。</li> <li>・4月の開館に向け、指定管理者等と施設運営について打ち合わせを行いました。</li> <li>・施設利用や運営に関する連携について、各種スポーツ団体等との打合せを行いました。</li> </ul>
<b>【課題】</b>		<b>【課題】</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月14日に実施を予定している開館記念式典及びオープニングイベントについて最終準備をします。</li> <li>・開館後は区民や関係団体等から寄せられる様々な意見をもとに、より一層利用しやすい施設運営を検討していく必要があります。</li> </ul>
<b>指標達成度</b>		<b>23年度</b>	<b>24年度</b>
		<b>A</b>	<b>A</b>

5 ①事務事業に関する区民要望・ニーズの変化及び②区民参画の状況	
②オープニングイベントで文京区スポーツ推進委員会、文京区体育協会加盟団体（卓球連盟、アーチェリー協会）に依頼し体験教室を実施する予定です。	

6 今後の方向性		
時点	方向性	
23年6月末	拡充	<b>① 事業の展開内容</b> 平成25年3月21日に竣工引渡、4月14日（日）オープニングイベント実施、翌日より通常利用を目指して物品・備品の整理、運営の調整を行っていきます。
24年6月末	拡充	<b>② 予算の増減内訳</b> 一般需用費の減△12,420千円 印刷製本費の増90千円 一般委託費の増575千円 備品購入費の減△36,405千円 食糧費の増3千円 旅費の減△3千円
25年5月末	終了確定	<b>③ 所要人員の考え方</b> 常勤0.3+0.1+0.1=0.5人 非常勤0.1人
		<b>④ 現状維持の理由</b>

# 平成25年度 事務事業評価表【A様式】

1 事業の概要			
事業番号	172	事業名	2013年東京国体開催準備
基本構想上の位置付け	【大項目】		【中項目】
	コミュニティ・産業・文化		スポーツ振興
個別計画			
所管	アカデミー推進部	スポーツ振興課	
目的	地域スポーツの振興と区民の健康増進、体力向上を図り、併せて地域の活性化を目指します。		
手段	23年度に設立した文京区実行委員会を中心にスポーツ祭東京2013文京区競技の開催に向けて準備を進めています。本年度は各競技本番を想定したリハーサル大会を実施し、本大会成功のための課題や問題点を検証します。また、様々なイベントにてPR活動を行い、多くの区民の来場を促していきます。		

2 事業の指標									
指標名	単位	22年度	23年度			24年度			25年度
		実績	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画
小石川運動場グラウンド改修工事進捗度	%	20	100	100	100%				
リハーサル大会開催準備進捗度	%	10	40	40	100%	100	100	100%	
国民体育大会開催準備進捗度	%	15	35	35	100%	60	50	83%	100

3 コスト						
単位：千円	22年度	23年度		24年度		25年度
	実績	予算	実績	予算	実績	予算
事業費 A	151,129	803,593	805,229	32,115	28,208	110,344
特定財源	0	326,780	326,780	14,330	13,193	54,157
一般財源	151,129	476,813	478,449	17,785	15,015	56,187
所要人員 B	0.33	1.70	1.70	2.40	2.40	4.80
職員1人給与 C	7,092	6,895	6,895	6,809	6,809	6,868
人件費 D=B×C	2,305	11,722	11,722	16,342	16,342	32,966
総経費 E=A+D	153,434	815,315	816,951	48,457	44,550	143,310

4 評価			
事業の成果及び課題			
23年度	24年度	25年度	
<b>【成果】</b> ・小石川運動場グラウンド改修工事について、工事説明会や関係団体への説明等を実施しました。 ・社会資本整備総合交付金の申請を行いました。 ・平成22年12月に小石川運動場改修工事を着工しました。 ・工事関係者と定期的に打ち合わせを行っています。	<b>【成果】</b> ・小石川運動場グラウンド改修工事が予定通り竣工、備品・物品搬入やグラウンド運営など、オープンに向け最終的な準備をしています。 ・スポーツ祭東京2013開催に向け、21の団体により文京区実行委員会を設立し、開催に向けた準備を進めています。	<b>【成果】</b> ・小石川運動場のオープニングイベントの少年少女サッカー教室は多くの子どもたちが参加し盛況のうちに関わり、グラウンドや会議室利用率も順調に伸びています。 ・サッカー、レスリングともに国体リハーサル大会を開催し、本番に向けた課題を検証し準備を進めています。	
<b>【課題】</b> ・小石川運動場オープニングイベントや予約システムの準備など、オープンに向けての準備を進める必要があります。 ・国体実施に向けて、実行委員会を設置する等の準備を進めるとともに、文京区体育協会や体育指導委員等の関係団体と連携をとっていく必要があります。	<b>【課題】</b> ・本年度開催のリハーサル大会、及び来年度開催の本番に向けて、文京区実行委員会を中心に、関係団体と連携をとりながら、引き続き準備を進めていく必要があります。 ・区では馴染みのないレスリング競技の会場設置も含め、どのように運営・周知していくか。また、国体全体の効率的なPR方法等について協議・検討していく必要があります。	<b>【課題】</b> ・リハーサル大会の実施結果を踏まえ、来場時の公共交通機関の利用推進など、過去の開催と比較検討し異なる部分は周知を徹底する必要があります。 ・区内では様々な全国大会が数多く開催されているため、国体の良さを効果的にPRして、多くの皆さまに来場いただく工夫をする必要があります。	
<b>指標達成度</b>			
	23年度	24年度	25年度
	A	A	B

5 ①事務事業に関する区民要望・ニーズの変化及び②区民参画の状況

6 今後の方向性		
時点	方向性	① 事業の展開内容
23年6月末	拡充	開催年となり、会場設営等ハード面からPRなどソフト面まで綿密な準備を進め、充実したイベントとなるよう運営していく。
24年6月末	拡充	② 予算の増減内訳 補助及び交付金の増81,535千円 旅費の減△454千円 一般需用費の減△1,931千円 一般委託費の減△400千円
25年5月末	拡充	③ 所要人員の考え方 常勤3.4人 非常勤1.4人 ④ 現状維持の理由

# 平成25年度 事務事業評価表【A様式】

1 事業の概要			
事業番号	173	事業名	スポーツ指導者の育成と活用
基本構想上の位置付け	【大項目】		【中項目】
	コミュニティ・産業・文化		スポーツ振興
個別計画	アカデミー推進計画		
所管	アカデミー推進部	スポーツ振興課	
目的	スポーツ推進委員・スポーツリーダー及び区内スポーツ団体の指導者に対し、研修会や講習会を実施し、専門技術や指導力の強化を図っていきます。区内のスポーツクラブ、地域住民のスポーツ団体等に技術向上のための支援を行い、地域スポーツの振興を図ります。		
手段	スポーツ指導者の資質向上のため、専門技術・メンタルトレーニング・指導方法・安全管理等の講習会を開催します。スポーツ団体等に実技指導員（スポーツ推進委員またはスポーツリーダー）を派遣します。		

2 事業の指標									
指標名	単位	22年度	23年度			24年度			25年度
		実績	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画
指導者講習会	回	1	2	2	100%	2	2	100%	2
地域派遣	単位	139	190	116	61%	200	106	53%	210

3 コスト						
単位：千円	22年度	23年度		24年度		25年度
	実績	予算	実績	予算	実績	予算
事業費 A	557	682	479	667	435	727
特定財源	0	0	0	0	0	0
一般財源	557	682	479	667	435	727
所要人員 B	0.10	0.10	0.10	0.20	0.20	0.20
職員1人給与 C	7,092	6,895	6,895	6,809	6,809	6,868
人件費 D=B×C	709	690	690	1,362	1,362	1,374
総経費 E=A+D	1,266	1,372	1,169	2,029	1,797	2,101

4 評価			
事業の成果及び課題			
23年度		24年度	
【成果】	22年度は、体育指導委員の意見・要望を取り入れ、キネシオテーピング講習会を実施し59名の参加がありました。46団体（12種目）から、体育指導委員63単位、スポーツリーダー76単位、計139単位の派遣依頼がありました。	【成果】	23年度は、スポーツ推進委員の意見・要望を取り入れ、上級救命講習会及び障害者スポーツをテーマにした講習会を実施しました。参加者数は延べ53名です。延べ37団体（10種目）から、スポーツ推進委員64単位、スポーツリーダー52単位、計116単位の派遣依頼がありました。
【課題】	指導者も年齢層が高くなり、若手の指導者育成や地域におけるスポーツの人的資源の掘り起こしが必要です。指導者派遣は、依頼してくる団体が毎年決まっているため、多くの団体に活用していただくよう、積極的な広報が必要です。	【課題】	指導者の資質向上と、若手の指導者育成が必要です。指導者派遣は依頼してくる団体や種目が固定化しており、制度を広く周知し、利用団体を増やすことが必要です。
指標達成度		23年度	24年度
		B	B

5 ①事務事業に関する区民要望・ニーズの変化及び②区民参画の状況	
指導者講習会の企画・運営はスポーツ推進委員と協力して実施しています。	

6 今後の方向性		
時点	方向性	① 事業の展開内容
23年6月末	拡充	指導者講習会は前年度に引き続き障害者スポーツをテーマに開催します。指導者派遣の活用を図るため、広く周知します。
24年6月末	拡充	② 予算の増減内訳 地域派遣申請の増加見込に伴う、報償費の増（60千円）
25年5月末	拡充	③ 所要人員の考え方 常勤職員1人×0.1+非常勤職員1人×0.1人 計0.2人
		④ 現状維持の理由